

教育課程研究指定校事業実施計画書（平成29年度）
 — 研究課題 3（5）校種間連携 —

都道府県・指定都市番号	1	都道府県・指定都市名	北海道
-------------	---	------------	-----

1 研究指定校の概要

[中学校]

ふりがな 学 校 名	長万部町立長万部中学校				ふりがな 校長名	はせがわ 長谷川	ひで 秀	お 雄	公立・国立・私立 (○で囲む)			
所在地	〒049-3516 北海道山越郡長万部町字栄原138番地 電話 01377-2-2064 FAX 01377-2-2633 e-mail : oshamambe-jh@educet03.plala.or.jp											
(平成29.4.1見込)	1年	2年	3年	計	教員組織 臨時任用の者は常勤の者のみ含む	校長	教頭等	教諭	養護教諭	事務職員	その他	計
学 級 数	1	1	1	3		1	1	13	1	1	2	19
児 童 数	28	37	38	103	特記事項	なし						

[高等学校]

ふりがな 学 校 名	北海道長万部高等学校					ふりがな 校長名	め 目	や 谷	のぶ 信	やす 靖	⓪・国立・私立 (○で囲む)			
所在地	〒049-3516 北海道山越郡長万部町字栄原143番地 1 電話 01377-2-2069 FAX 01377-2-2633 e-mail: oshamanbe-jimu@hokkaido-c.ed.jp													
(平成29.4.1見込)	1 年	2 年	3 年	4 年	計	教員組織 臨時任用の者は常勤の者のみ含む	校長	教頭等	教諭	養護教諭	事務職員	その他	計	
学 級 数	1	1	1		3		1	1	9	1	3	1	16	
児 童 数	16	26	31		73	特記事項	なし							

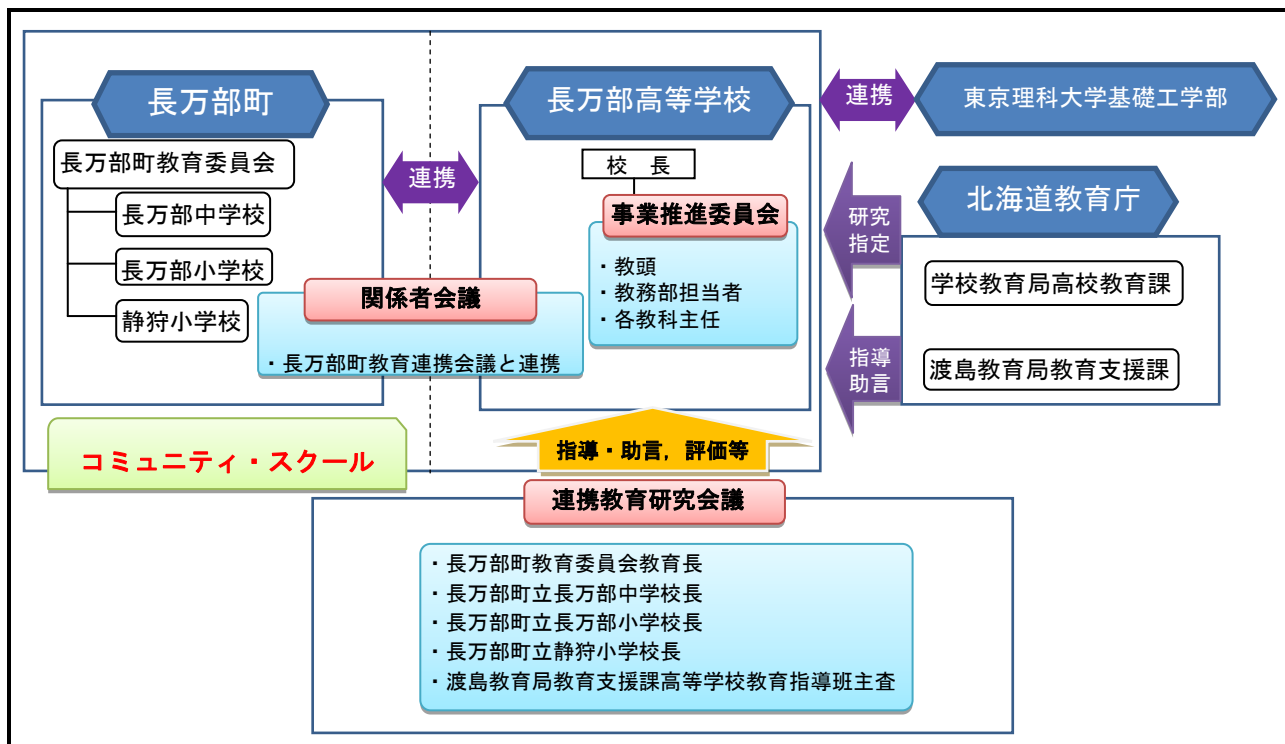
2 研究主題等

推進地域等 における研 究主題	校種間の円滑な接続を核として、社会に開かれた教育課程の編成、指導方法の工夫・改善や世代を超えた人づくりを町づくりにつなげる組織体制・運営の確立に関する研究
研究主題設 定の理由	長万部町は、少子高齢化が急激に進み、過疎が抱える危機に対して、持続可能な町づくりが求められている。長万部高校もまた、中卒者の減少だけではなく、多様性を求める志向等による他市町村の大規模校への中卒者の流出という危機に対して、持続可能な学校づくりが大きなミッションとなっている。 現在、小中高及び町教委の連携機関として、長万部町教育連携会議を設置しており、計画的な学校運営についてテーマ設定をした協議会と、教科・分掌ごとの協議会とを2本柱として実施している。本会議においては、教員間の連携、学校と行政との連携体制が構築されており、成果をあげている。 一方、地域の実態や各学校段階の特徴を踏まえた児童・生徒の学びの連続性の確保や中長期的な視点も含めた町づくりと学校づくりのために、あらゆる世代の地域住民を巻き込んだ「Total-Win」の関係を構築すること等の課題がある。 こうした課題の解決に向けて、長万部町には3つの強みがあると考えている。1つ目は2030年に予定されている北海道新幹線の札幌延伸である。小樽ルートが採用され、長万部新駅を中心とした洞爺・登別方面への起点となる町づくり構想が推進されている。2つ目は2017年9月からの小中学校におけるコミュニティ・スクール導入による地域との連携強化である。長万部高校としてもコミュニティ・スクールの導入も視野に入れた地域との連携を強化できる環境にある。3つ目は、町内に東京理科大学基礎工学部があることである。現在、校種間で別々に実施されている連携を系統的に実施することで、さらに取組の成果を上げることができると考えている。 こうしたことから、長万部中学校と長万部高校が主体となって「社会参画（地域づくり）の推進、キャリア教育の推進、問題発見・解決のある学びの推進」を観点とした、社会に開かれた教育課程の編成、指導方法の工夫・改善、「チーム長万部」の組織体制の構築が、校種間及び地域の円滑な接続を可能にし、人づくりを町づくりにつなげることができると考え、研究主題として設定した。

研究の内容	1 社会に開かれた教育課程の編成・実施 ・小中高大連携を通じて身に付けさせたい資質・能力の明確化 ・学校内での学びが自己実現や町づくりにつながる自覚を持たせるキャリア教育の充実 ・社会教育や地域住民との協働教育 ・大学を含めた長万部教育連携会議の再構築 ・長万部スタイルの小中コミュニティ・スクールとの連携 2 教科指導等の工夫・改善に向けた取組の実施 ・身に付けさせたい資質・能力の育成に向けた教科指導等の工夫・改善（主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の研究） ・「長万部町教育連携会議」における学習連携会議・研修会への参加 3 上記1・2を目指したカリキュラム・マネジメントの実現 ・小中高大連携を通じて身に付けさせたい資質・能力，本事業の実施計画等に係る関係諸機関との共有 ・本研究における，生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成に向けて，生徒自身が個人内評価や記録を蓄積させるポートフォリオを実施 ・生徒や保護者，地域住民によるアンケート結果や生徒によるポートフォリオをもとにきめ細やかなPDCAサイクルの実現 ・次年度取組への改善だけでなく，年度内，次の活動，日常生活や教科の学習の改善につなぐ評価の推進 ・地域社会の構成者として自主的に地域貢献できる生徒像に迫っているか，地域住民からのアンケート評価及びヒアリングを重視
-------	---

3 研究体制等

（１）全体図



（２）校種間連携協議会の構成員・人数

- | | | | |
|---|---------------------|-------|---------------------|
| 1 | 北海道長万部高等学校 | ・ ・ ・ | 校長，教頭，教務担当教諭，連携担当教諭 |
| 2 | 長万部町立長万部中学校 | ・ ・ ・ | 校長，教頭，教務担当教諭，連携担当教諭 |
| 3 | 長万部町立長万部小学校 | ・ ・ ・ | 校長，教頭，教務担当教諭，連携担当教諭 |
| 4 | 長万部町立静狩小学校 | ・ ・ ・ | 校長，教頭，教務担当教諭，連携担当教諭 |
| 5 | 渡島教育局教育支援課高等学校教育指導班 | ・ ・ ・ | 主査，担当指導主事 |

4 研究計画

	実施時期	研究内容, 研究方法, 成果の公開等	期待される成果等
平成29年度	前期	1 第1回事業推進委員会 ・本事業の実施計画の検討 ・課題の明確化 2 第1回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・本事業の説明 ・課題の明確化及び共有 3 第1回連携教育研究会議 ・本事業の実施計画の策定 4 第2回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・キャリア学習①～今年度の取組とねらい 5 第2回事業推進委員会 ・校種間連携の取組及び評価方法の研究 6 第3回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり①～今年度の取組とねらい ※ 事前アンケート実施（5月実施）及び分析 ※ 学校運営協議会へのオブザーバー参加（通年）	・事前アンケート等の実施及び分析に基づく課題の明確化 ・他校種との交流による課題の共有 ・系統的なキャリア教育の研究推進 ・主体的・対話的で深い学びや、課題発見 ・解決のある学びの過程に視点を当てた教科指導等の研究推進（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善の推進） ・系統的な指導を通して「地域を愛し（理解）、地域を考え（分析）、地域をつくる（創造）」生徒の人材育成
	後期	1 第3回事業推進委員会 ・中高連携等に係る取組の推進状況の確認と課題改善 2 先進校視察 ・小中高大連携を推進している先進校の視察 ・コミュニティ・スクールを推進している先進校の視察 3 第4回事業推進委員会 ・先進校視察の報告と活用 4 第4回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・中高連携等に係る取組の推進状況の確認 ・先進校視察報告と活用 ・キャリア学習②～今年度の成果と課題 5 第5回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり②～今年度の成果と課題 6 第5回事業推進委員会 ・一年次の事業検証・評価と次年度に向けた検討 7 第6回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・一年次の取組内容の検証及び改善に向けた検討 ・小中高大連携に係る二年次の取組の検討 8 第2回連携教育研究会議 ・一年次の事業の検証・評価 ・二年次の実施計画の策定 9 長万部町教育研究発表会 ・本事業の研究成果の中間報告 10 研究成果中間報告書の作成 ※ 事後アンケート実施（12月実施）及び分析	・外部の教育資源を積極的に活用することで「チーム長万部」の体制を確立 ・事後アンケートの実施及び分析に基づく成果と課題の把握 ・研究成果中間報告書の作成

平成30年度	前期	1 第6回事業推進委員会 ・系統的なキャリア教育の指導計画の検討 ・「町づくり」をテーマとした課題解決学習 ・社会参画への意識を高める指導の在り方の検討 2 第7回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・一年次の成果等の報告及び二年次の研究内容の説明 ・小中高大連携における課題解決に向けた協議 3 第3回連携教育研究会議 ・二年次の実施計画の確認 4 先進校視察 ・「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善を推進している先進校の視察 5 第7回事業推進委員会 ・先進校視察の報告と活用 ・二年次の進捗状況の確認と課題改善 6 第8回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・先進校視察の報告と活用 ・中高連携等に係る二年次の取組の推進状況の確認と課題改善 ※ 事前アンケート実施（5月実施）及び分析 ※ 学校運営協議会へのオブザーバー参加（通年）	・社会参画（町づくり）への意識を高める指導の工夫 ・主体的・対話的で深い学びや、課題発見 ・解決のある学びの過程に視点を当てた教科指導等の研究推進（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善の推進） ・系統的な指導を通して「地域を愛し（理解）、地域を考え（分析）、地域をつくる（創造）」生徒の人材育成 ・コミュニティ・スクールの推進による地域の変化、地域の魅力及び地域の人材を活かした長万部スタイルの魅力ある学校の創造
	後期	1 第9回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善についての協議等 2 第8回事業推進委員会 ・取組の分析に基づく生徒の変容の把握 ・本事業の研究成果の検証 3 第10回関係者会議（長万部町教育連携会議） ・小中高大連携等に係る本事業の研究内容の検証 4 第4回連携教育研究会議 ・本事業の成果の検証及び評価 5 長万部町教育研究発表会 ・本事業の研究成果の報告 6 研究成果報告書の作成 7 研究成果の普及 ・ウェブページや各種発行物への成果の掲載 ※ 事後アンケート実施（12月実施）及び分析	・行政と学校、そして地域の「Total-Win」の関係構築による持続可能な地域社会の創造 ・事後アンケートの実施及び分析に基づく成果と課題の把握 ・各分析等に基づく生徒の変容の把握 ・研究成果報告書作成 ・ウェブページ等を用いた研究成果の普及

5 研究のまとめの見通し

1 まとめの方向性（期待される効果）

- (1) 小中高大等校種間の円滑な接続を核として、社会に開かれた教育課程の編成、指導方法の改善及び充実

- (2) 世代を超えた人づくりを町づくりにつなげる組織体制・運営の確立

2 研究成果の検証方法

- (1) 生徒・保護者・教師へのプレアンケート及びポストアンケートによる評価
(2) 生徒による個人内評価を含むポートフォリオ
(3) 地域住民によるアンケート評価及びヒアリング
(4) 個別の事業評価
(5) 連携教育研究会議による評価
(6) 地元中卒生の長万部高校進学率の変化

3 研究成果の普及

- (1) 研究成果報告書の作成及び配布
(2) 管内各学校種の研究会等における研究成果の発表
(3) ウェブページ、各種発行物への研究成果の掲載

